

平成23年度確かな学力向上のための具体的取組 **評価**

大館市立東中学校

## ねらい：確かな学力の向上を図る

「確かな学力」		平成23年度の評価指標と実践課題	学校評価 自己評価B		
①知識・技能の習得	○			基本的な学習習慣 ・望ましい学習習慣の確立	() 昨年 4 (3)
②思考力・判断力・表現力の育成	○				
③学習意欲・学習習慣	◎				
「確かな授業力」		充実した家庭学習 ・効果的な家庭学習への取組	3 (3)		
④生徒指導の機能を生かした学習指導	○			研修の実施及び活用 ・研究会を通しての指導力の向上 ・各教科での取組の共有	4 (4)
				授業改善の推進 ・確かな学力を身に付ける授業づくり ・互いに高め合う学習活動の工夫	3 (4)

共通実践事項	具体的な取組	達成状況	備考等(課題▲、成果○)
① 学力向上を目指した学校間の積極的な連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 校内での教科の枠を超えた授業交流による授業改善</li> <li>・ 校外の研究会への参加と研究成果の情報共有</li> </ul>	() 昨年 ○ (○)  ○ (○)	○ 相互授業参観を行い、感想を交流することで、授業改善に生かすことができた。 ▲ 研究会等で得た情報共有の場は設けたが、もっと迅速に伝達する工夫が必要である。
② 「活用する力」を育てるための授業づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東中スタンダードの確立</li> <li>● 伝え合う活動の工夫(言語活動の充実)</li> <li>・ 各教科における選択教科の時間の効果的な活用</li> </ul>	◎  ○  ◎ (◎)	○ 授業の基礎・基本を全職員が意識して取り組むことで、話し合いをコーディネートしながら進められるようになってきた。 ○ 伝え合う活動を単元の中に意図的に設定して取り組むことで、自分の考えを伝える場がしっかりと設定されている。 ▲ 伝え合う活動をより充実させるためには、課題や発問の精選が必要である。 ○ 各教科とも様々な問題を取り上げ取り組むことができた。

(● 重要な課題であると考えられる具体的な取組)